学校番号	3028

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立　共生　創造（東京書籍）						
副教材等	LIFE　おとなガイドデジタル＋（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科は、自分を大切にする力（自立）、他者と共に生きる力（共生）を互いに育てあう教科である。
これから社会生活を送る上で必要な知識技術を、自ら生活する者の立場で学び、自分らしい生活を創造していく力を身につけよう。
・自分の人生や生活上の課題を、ワークや演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけると共に、考察をまとめ、発信できるようにしよう。また、他者の考察を知り、多様な考え方を学び、尊重すると共に、自分の考えを深めよう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけ、周囲の人を助け、リーダーとなることができる能力を育てる。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざそう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
学習した知識や技能を活かし、家庭や地域の生活課題の解決策を構想し考察したことを、根拠に基づいて論理的に表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯を見通して課題を解決する力を身につけ、自分や家庭、地域の生活の充実を図るため主体的に実践しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に身につけている。	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期 4 5 6 7 月	衣生活をつくる	○被服の役割と機能 衣服の起源や快適な衣服の特徴や機能について考える。 ○被服材料の種類と特徴 素材の種類や繊維の種類、また性能の改善について学ぶ。 ○衣服の構造とデザイン 洋服と和服の違いを学ぶ。 ○衣服の選択と管理 衣服に関する洗剤、防虫剤や衣生活計画を学ぶ。 ○被服実習(その1) ミシンを使ったエコバッグの製作 ○被服実習を通じて適した布選び、用途に応じた縫製を学ぶ。 ○持続可能な環境に配慮した衣生活について自分自身や世界の動向を学ぶ。	a:衣服の性能と特徴について知識を身につける。また衣服を適切に選択し管理することができる。 ・不要となった衣服についてリサイクル等を実践することができる。 ・被服実習を通じて、縫製技術を身につけることができる。 b:衣服の用途によって適切な衣服素材を考え、判断することができる。 ・被服材料、衣服整理について基礎的な知識を身につけ実生活での衣服管理において適切な判断ができる。 c:被服実習に主体的に取り組もうとし、効率的、かつ機能的な仕上がりを目指している。 ・入手から処分まで衣生活計画に取り組もうとする。	プリント バズセッション 発表 実習課題 実習観察 ワークシート 発表	プリント バズセッション 発表 実習課題 実習観察 ワークシート 発表	プリント バズセッション 発表 実習課題 実習観察 自己評価 ワークシート 自己評価
8 9 月	ホームプロジェクト	○自分の生活を見直し、課題解決することを目標とし、実際に改善する。	a:ホームプロジェクトに関心を持ち自分の生活と関連付けることができる。 b:自分の活動について表現できる。 c:生活を通して主体的に取り組むことができる。	レポート 発表 定期考査	レポート 発表 定期考査	レポート 自己評価

後期 10 11 12 月	食生活をつくる	○私たちの食生活の問題点に気づく。 ○日本の食文化の成り立ちと和食の特徴を知る。 ○栄養と食品のかかわりやバランスの良い食事について考える。 ○食品の選び方や安全について考える。 ○食事の計画と調理実習を通して調理技術やマナーを実践し、自立に必要な知識を身につける。 ○これからの食生活を考える。	a:栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 ・食事意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 b:栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理の関係において、科学的な思考を身につけ食品選択、栄養計算、献立作成など、実際の食事作りに向けての判断ができる。 ・現在の日本の食生活において、調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる。 ・今後の人生における食生活の課題を想定することができる。 c:調理実習において、積極的に参加し、取り組もうとしている。また、作業の流れを判断しながら動いている。	プリント バズセッション 発表 小テスト 調理実習 実習観察	プリント バズセッション 発表 小テスト 調理実習 実習観察	プリント バズセッション 自己評価 調理実習 実習観察 自己評価

1 2 月	持続可能な生活	○被服実習(その2) 手縫いで袱紗製作 ○環境に配慮した衣生活について学び、持続可能な社会を考える。	a:手縫いで袱紗製作 手縫いの基礎的な縫製技術を身につけ生活文化に触れる。冠婚葬祭のマナーを知ることができる。 b:生活文化やマナーを知ることで課題を導き出すことができる。 c:基礎縫いの実習や課題に積極的にとり組もうとする。	被服実習 授業観察 レポート	被服実習 授業観察 レポート	被服実習 授業観察 レポート 自己評価
3 月	これからの生活設計	○家庭基礎の学習を生かして自分らしい生活をデザインする。 ○自立と共生の生き方を学ぶ。 ○将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。	a:短期長期の経済計画にかかわる学習を通して経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 b:短期・長期の経済計画に関わる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 c:経済的自立を考えながら人生設計に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 定期考査	ワークシート バズセッション 発表 定期考査	ワークシート バズセッション 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度